

晴嵐幼稚園だより おおきくなあれ

R 8年4月 地域版NO.1

大津市立晴嵐幼稚園

園長 岸本 光香

大津市鳥居川町 15-22

☎・FAX 537-1578

Otsu2714@city.otsu.lg.jp

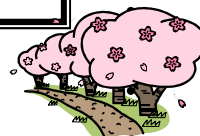
桜の色が美しい春、9日に第一学期始業式、10日に入園式を無事行うことができました。今年度は3歳児15名、4歳児10名、5歳児19名、全園児44名で令和8年度が始まりました。

今年度も教育目標の『3つのあ』をめざして、笑顔あふれる元気で心豊かな園生活を、職員一同、創り出していきたいと思っています。

地域の皆様、保護者の皆様には引き続きご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

晴嵐幼稚園の教育目標
3つの「あ」

- あいさつのできる子ども
- あきらめない子ども（考える子ども）
- あいてのことも考えられる子ども



「1. 2. 3. . . . 10」

園生活が始まり、子どもたちは各々やりたい場所で、やりたい遊びを繰り広げています。

全園児が、入り混じり、人と関わる中でドラマが生まれています。特に入園したての3歳児は「やりたいことを、今したい」と願っていますので、いろいろな場でいろいろな人と出会っていきます。

手押し車を押して、遊ぶ5歳児のもとに行き、3歳児も同じように遊ぼうとします。すると、5歳児が、その車を貸してあげます。でもずっと長くは困るので、自然に10数えて交代し合ったり、うまくいかなかったりする姿がありました。3歳児の気持ちを受け止めながら、遊び方を変え、自分も相手もよい方法を見つけ、一緒に遊び進めていく姿が見られました。

教育目標のあいてのことも考えられる子どもの姿がみられ、子どもたちの育ちに嬉しくなりました。



「みんなのもの」

3歳児が5歳児の砂場にあるシャベルを使おうとしたときのことで、「幼稚園にあるものは、どれも使っているよ。」と伝えています。幼稚園は、子どもたちの遊び場であること、気兼ねなく遊具も自由に使っていることを、優しく教えている姿に感動しました。もちろん、大切に使う事やルールの中で生活することは重要で、そのことは土台ではあるのですが、幼稚園という社会の中で、自分らしく伸び伸びと過ごせることが、まずは一番であることを、子どもから、改めて教わったような気がしました。素敵な子どもたちです。

